

いこいの村 西川節子

題字 梅の木寮

2015年（平成27年）8月20日発行

第399号

発行責任者 いこいの村聴覚言語障害センター
所長 岩本 幸子

編集 いこいの村編集委員会
〒629-1242
綾部市十倉名畑町久瀬谷2番地
TEL (0773) 46-0101
FAX (0773) 46-0610

<http://www.kyoto-chogen.or.jp/ikoi>



釣れた!!



手作り浴衣で、手作りわたあめ



狙いを定めて……



これぞお祭り男



いつもと違う雰囲気にも会話も弾む



なかなか入らんない



セミの大合唱が聞こえる
7月29日、梅の木寮・合同納涼祭を開催しました。このよ
うな形で納涼祭を行うのは今
回が初めてです。当日午後
地域交流室にお祭り屋台が出
現し、提灯や万国旗がつるさ
れ、浴衣やはっぴ、甚平を着
るとお祭り気分になってしま
した。「甘〜っおいしいわあ
〜とわたあめを頬張り、「やった
ー!!取れた!!」と水ヨーヨー
をすくい、「なかなか倒れへん
なあ…」とゴム鉄砲の射的
的を倒して……。馴染みある
『福知山音頭』を聴きながら、
お祭り会場に笑顔があふれま
した。

夜には、花火大会をしまし
た。薄暗くなってきた頃、ひ
のきの家の隣の中庭に集まり、
ふき出し花火に点火。パッと
明るく輝く花火の光に、夏の
暑さを忘れたひとときでした。

（梅の木寮 紅葉ユニット
鉄本千尋）

ほがらかに行く会を開催しました

7月5日(日)、平成27年度『いこいの村ほがらかに行く会』をいへんセンターで開催しました。

ほがらかに行く会は、いこいの村聴覚言語障害センターが綾部市東部地域包括支援センターと共催し、綾部東部地域にお住まいの高齢者を対象に、介護予防の観点から心身の健康維持を目的に毎年行っています。

当日は、31名の方に参加していただきました。



先生を見ながら手の体操をしています！

歌って・元気に・ほがらかに！

今年「運動」をテーマに、音楽療法士の松浦先生・土手先生をお招きし、音楽に合わせて歌ったり、体を動かしたりしました。

昔懐かしい『うみ』『めだかの学校』を歌いながら、手を叩いたり、指を動かしたり…。最初は、緊張と戸惑いで表情も固い参加者の皆さんでしたが、徐々に表情も体もほぐれていきました。



音楽に合わせて体操！

手作りのマラカスでリズムを取ったり、棒を持って体を動かしながら歌ったりすることで、普段は使っていない部分を使い、刺激ある時間となりました。



職員から施設の紹介をしました

連携して支えます

会の最後には、職員よりいこいの村の紹介をしました。各部署の職員が、それぞれ事業の特徴を説明し、いこいの村を知っていただく機会となりました。「困った時は、東部地域包括支援センターやいこいの村に」と地域を支える拠点であることを発信する事ができました。

地域にお住まいの高齢者が、今後も心身の健康維持ができて、活動的な生活になるように支援していきたいと思えます。

(高齢福祉部 介護支援課 木村聡子)

〈ほがらかに行く会の感想〉

- 身近な音楽で頭の体操ができました。高度な学習内容で最高でした。
- いつも動かさない頭を動かして、また家でも思い出してしたいと思えます。
- 家ではいつも黙っていることが多いので、人と話ができ気持ちになりました。
- 常に頭を使うことがないので、今日は良い刺激になり勉強になりました。

〈いこいの村や高齢者支援への要望・期待する事〉

- 介護保険のおかげで夫と在宅生活が順調に維持できています。今後、短期入所が必要になった際はお願いしたい。
- 東部包括支援センターが近くにできて大変心強く感謝しています。
- またこのような会を企画してほしい。今後このような会があれば、進んで参加したい。

介護のワンポイント

「認知症の方へ」

対応する時は『

考え方や感じ方はそれぞれ

違いがあるように、認知症の

症状は、人それぞれです。

接し方のポイントとして、

① 一人の人として普通に接する。

② 本人の思いを大切に。

③ 笑顔で楽しく。

④ 視野に入って話す。

⑤ 聞くようにしている姿勢を示す。

⑥ ゆっくり1つずつ話す。

⑦ なじみのある言葉で。

⑧ 本人の好むことやなじみのあることを話題に。

⑨ 不安や不快を感じていないか、注意をほらう。

⑩ 本人に聞く、たずねる、確かめる。

まずはあせらずに、「いいえ」

「いいえ」を深め、関係を築くことが大切です。

築くことが大切です。



聴こえのQ&A知識

「歳をとって、耳が遠くなっ
た。何を言ってるか分からん
から地域の会合へ行かんよう
になった」

高齢になると「耳が遠くな
った」と言われる方が多く、
聞こえに不便を感じる方が京
都府北部各地域での聞こえの
相談会に來られます。相談者
のほとんどは65歳以上の高
齢者です。

老人性難聴って？

身体の様々な動きは、歳を
とるにつれて衰えていきます。
音を聞き取る聴力も、例外で
はありません。高齢になるに
つれて徐々に聴力は低下し、
会話の面で不便になり始めま
す。いわゆる「老人性難聴」
と言われています。しかし、
進行状況は個人差が大きい
ので40〜50代で補聴器が必要
になる人もいれば、80代を超

えてもほとんど聴力が低下し
ない人もおられます。

聞こえ方についてはそれぞれ
個人差があり、その方にあ
った方法でのコミュニケーション
が必要です。



老人性難聴は、老化に伴う
現象ですので、その進行を抑
えることはできません。補聴
器をつけることである程度改
善されますが、元どおりに聞
こえるようになるわけではあ
りません。補聴器の限界を理
解して上手に利用することが
大切です。

みんな参加しやすい場に

冒頭の会合のような、いろ
んな方の話し声飛び交い、
周りもガヤガヤとうるさい状
況では、老人性難聴の方や補
聴器をつけている方にとって
は内容が分からず、行っても
苦痛な場になってしまいます。

話の内容を書いて伝える
「要約筆記」があれば、少
でも参加しやすい場になりま
す。9月21日は「敬老の日」、
その日に合わせて各地で敬老
会が実施されます。多くの方
が参加しやすい環境作りのた
めに、難聴者協会や要約筆記
サークルの皆さんのがんばり
と地域の皆さんの理解で敬老
会に要約筆記をつけておられ
るところもあります。要約筆
記について希望される方は聴
言センターまで相談してくだ
さい。

(綾部市聴覚言語障害者
支援センター 今西和弘)



いこいの村
梅の木 葵
部長 記 由美

夏と言えば、スイカ、海水
浴、冷やし中華・・・といろ
いろありますが、忘れてはな
らないのは70年前に終わっ
た戦争のことです。

梅の木 葵の90歳の生活者
(利用者)の方に当時のこと
をお伺いしました。「戦火を逃
れて何度も引越しを、食べ
ていくために家の仕事を手伝
った。戦争がひどくなると男
はみんな兵隊にとられ、家族
は女ばかりになった。私は聞
こえないので、爆弾が落ちて
くると、お母さんが手を引い
てくれ防空壕に逃げた。防空
壕からピカピカと光る爆弾を
見た。戦争は怖い。もう見た
くない。」

日本一とも称される「長岡
まつり花火大会」は、明治12
年に始まり、戦時中の中断を
経て、昭和20年8月1日に
多くの犠牲者を出した長岡空

襲の翌年に再開し、以後毎年
8月1日に平和への願いを
込めて開催していると聞きま
した。

かつて、裸の大将で有名な
山下清氏が、その花火大会を
観てすばらしい貼り絵作品を
作られ、そこにこんな言葉を
添えられました。

「みんなが爆弾なんかつく
らないで、きれいな花火はか
りつくっていたら、きつと戦
争なんて、起きなかつたんだ
な」

平和な世の中は、みんなの
願いです。

平和な世の中



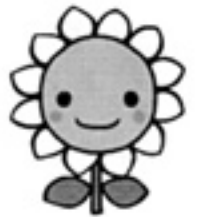
みんなの手話

手のひらを下に
した両手を左右に
開きながらおろす。

親指と小指を
立てた両手で
手前に水平に円を描く。



ありがとうございました



☆☆

◆後援会 ご入会・ご継続 (順不同)

田中 裕志 様	福知山市	継続
今井 寿子 様	綾部市八津合町	継続
垣内 祐穂 様	舞鶴市	継続
志馬 まさ江 様	綾部市光野町	継続
堀口 達也 様	綾部市宮代町	入会

◆ご寄付 (1000円以上 順不同)

(株)柴橋商会 様	京都市伏見区	クッキー1箱
洛和会ヘルスマイル 様	京都市	米菓
ワタキューセイモア(株)	京都府綴喜郡	飲み物
稲葉 達夫 様	上杉町	オムツ他
永井 忠之 様	井根町	ビール1箱
田中 裕志 様	福知山市	10,000円
四方 たづ子 様	鷹栖町	20,000円
森本屋 様	八津合町	飲み物
クロスロード 様	刈垣町	飲み物
たかお商店 様	十倉名畑町	飲み物
(株)マルヨ工務店 様	岡安町	飲み物

◆「後援会」はいこいの村で現金受付させていただいた方のみの掲載です。現金振り込み・自動引落の方は京都聴言ニュースに掲載させていただいております。

今回の掲載は7月1日~7月31日受付分です

《職員募集中！！》

- 栗の木寮 生活支援員 正規職員 1名
- 梅の木寮 生活援助員(介護職員) 正規職員 1名
- デイサービス介護職員 正規職員 1名
- ホームヘルパー(非常勤) 臨時職員(24時間/週) 3名
- 看護職員 正規職員・臨時職員 2名
- 調理員 正規職員・臨時職員(24時間/週) 2名
- 管理栄養士 正規職員 1名
- 障害者の相談員 臨時職員(30時間/週)
(勤務場所 福知山市) 1名

(お問い合わせ)
総務部総務課 採用担当者まで
TEL:0773-46-0101
FAX:0773-46-0610



ボランティアありがとうございました！

退職教職員組合あやべ支部
女性部ブロック会 様

マリーゴールドの植付
花が咲きました。
写真は7月26日です



～ともにつくろう いこいの村まつり2015～

笑顔あふれるコミュニケーションの輪

日時:2015年10月25日(日)
午前11時～午後3時
場所:いこいの村 敷地内



いこいの村まつり実行委員会 担当 橋本光弘・富田
TEL 0773-46-0101 FAX 0773-46-0610

いこいの村だより18

～さらなる夢の実現を！～

完成しました！頒価500円



9月たからの里の予定

石釜ぱん&たからの里

facebook 最新情報更新中！！
営業時間 午前10時～午後4時
Cafe Time 午前11時～午後3時
Cafelはご予約不要です。
(ランチは前日までにご予約をお願いします)
定休日 水曜日
TEL・FAX(兼)0773-21-4166



7月26日(日)に開催しました「3周年感謝祭」に
たくさんのご来店ありがとうございました。
154名様のお客様にお越しいただきました。
これからも、「たからの里」をよろしく願います。

9月在宅サービスの予定

【デイサービスの予定】
散髪の日 5日、12日、19日、26日
リハビリの先生の来所日 10日、24日

【配食サービス】
月～土曜日(山家・口上林地区対象)

【耳の相談日】
9月17日(木)
会場:いこいの村とくら福祉センター
時間:午後1時～午後3時 要予約
TEL:0773-46-0155 FAX:0773-46-0175



☆デイサービス・とくらの家では京都府・高齢者
「涼やかスポット」設置事業をしています。

冷房の効いた涼しいお部屋を地域の高齢者の皆様に
無料開放しています。ぜひ、お立ち寄りください。

